

子どもの楽しみ
～春・山と海～

上西だより

～上西校区集落支援員だより～

西之表市地域支援課
上西集落支援員
馬場 信一 編集
連絡先090-9579-3953
上西校区長責任発行

入学式・始業式が終わって教室が変わり、担任の先生とも慣れてきた5月。田んぼに植えられた稲が根をしっかりと張るようになると、農家はほっと一息をつく。海辺では、暖かい空気に潮の香がまじっている。
この時期、野山や岩場に足を踏み入ると子どもたちの楽しみがあちこちに…。



←四月は花卉がまだ白い→



キイチゴ
(和名 モミジイチゴ)

五月には色づいて食べごろ↓

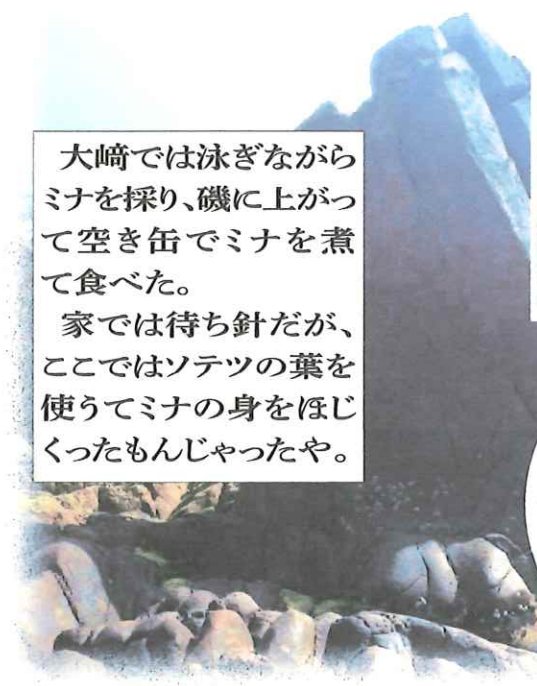


カシワイチゴ
(和名 ホウロクイチゴ)

現代は、安全第一で通学路が決まっているが、昔は自由だった。わざと山のなかを歩いてスリルを味わうことが子どもの楽しみだった。家に何時に帰ろうかが自由だったので、野イチゴを見つけるとわれ先に口にほおぼる。そのとき、年下の自分は木や崖を登れないので先輩から分け与えもらう。自分が年上になったら、採ってあげる。そういう上下関係を学ぶ場でもあった。



たくさん採れたら、ツワブキの葉をろうとの形にして(左写真)イチゴを溜め、年下の子に手渡す。このような技術も先輩から学んだ。



大崎では泳ぎながらミナを採り、磯に上がって空き缶でミナを煮て食べた。
家では待ち針だが、ここではソテツの葉を使ってミナの身をほじくったもんじゃったや。



たき火の煙が目にしみたが、ミナは格別。すきっ腹に磯の味がよくしみた。
(大崎 E・Yさん)